

納入事例



ホテル



西野目産業株式会社
取締役総支配人
大西 稔 様

「エネルギーコスト削減を実感」

当ホテルは、大雪山の麓の層雲峡温泉という国内有数の寒冷地に所在していますので、暖房や給湯は、重油でボイラーを焚くのが当然だと思っていました。
ところが、(株)スマート・リソースからの提案は、給湯はヒートポンプ給湯機、空調はヒートポンプチラーという、共に大気熱を利用する機器を中心に運用するというものでした。このような寒冷地で、ボイラーを焚かずに給湯や暖房を行うことだけでも驚きだったのですが、それによって年間100万円以上のコストダウンを図るというプランは、最初は半信半疑でした。ただ、(株)スマート・リソースが投資をして、それによるエネルギーコストメリットを分け合うというESCO型の提案であったこと、環境省の国



ホテル大雪 様



施設概要

所在地：北海道上川郡上川町字層雲峡

改修実績：2019年12月

企画立案・設備所有者：株式会社スマート・リソース

導入システム

【給湯】

三菱重工サーマルシステムズ株製
業務用CO2給湯機 キュートン
貯湯槽
ボイラ

【空調】

日本キヤリア株製
ユニバーサルスマートX

立公園内宿泊施設向けの補助金で投資額の50%が賄われるということ、また数多くの導入事例を見て、お任せすることにしました。
結果として、それらの心配は全くの杞憂に終わりました。導入して1年近くが経過しますが、エネルギーコストは驚くほど下がり、コロナ禍によって売上が減少した時期を下支えしてくれましたし、運用面も非常にシンプルになり、施設担当者の負担を減らすことができました。
また、国立公園内にある施設として、環境負荷を減らし、省CO2に寄与できたことも良かったと思います。



納入事例



旅館



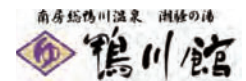
株式会社吉田屋
代表取締役
武田 将次郎 様

「削減効果は提案通りの結果」

別館のボイラーや貯湯槽が老朽化し、更新を検討していた時に、みずほ銀行から(株)スマート・リソースを紹介されました。
同社の提案は、ボイラーを単純に更新するのではなく、大気熱を利用するヒートポンプをメイン熱源にして、ボイラーをバックアップとするハイブリッド熱源とすることで、エネルギーコストを毎月平均100万円以上削減するというもので、また、それと同時に更新すれば、単体では補助金対象にならないボイラーや貯湯槽も補助対象にすることも可能とのことでした。
導入して半年が経過しましたが、エネルギー削減はほぼ提案通りの結果になっています。



鴨川館 様



施設概要

所在地：千葉県鴨川市西町1179番地

改修実績：2022年2月

企画立案：株式会社スマート・リソース

導入システム

【給湯・加温】

日本キヤリア株製
循環加温ヒートポンプ CAONS700
貯湯槽
ボイラ

今夏、電気単価が記録的な上昇をしましたが、検証をしてみると、それでも十分な削減効果が得られていました。
当ホテルにとって、鴨川の温暖な気候が魅力の1つですが、ヒートポンプによって、その大気熱が自然エネルギーとして熱源にも有効活用され、その結果として国が目標としているCO2削減にも貢献することができる上、自社のコスト削減もできる良い仕組みだと思えます。

